



2025年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年7月12日

上場会社名 株式会社マックハウス 上場取引所 東
コード番号 7603 URL <https://biz-mac-house.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 石野 孝司
問合せ先責任者（役職名） 取締役管理部長（氏名） 小林 大介 (TEL) 03-3316-1911
四半期報告書提出予定日 2024年7月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期第1四半期の業績（2024年3月1日～2024年5月31日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第1四半期	3,316	△22.9	△173	—	△160	—	△202	—
2024年2月期第1四半期	4,301	△8.7	△59	—	△39	—	△116	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第1四半期	△13.09	—
2024年2月期第1四半期	△7.52	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期第1四半期	7,837	2,504	32.0
2024年2月期	8,375	2,707	32.3

(参考) 自己資本 2025年2月期第1四半期 2,504百万円 2024年2月期 2,707百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年2月期	—	—	—	—	—
2025年2月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年2月期の業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,600	△18.9	△520	—	△500	—	△600	—	△38.81
通期	13,500	△12.4	△890	—	△850	—	△1,070	—	△69.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年2月期1Q	15,597,638株	2024年2月期	15,597,638株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2025年2月期1Q	136,207株	2024年2月期	136,207株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2025年2月期1Q	15,461,431株	2024年2月期1Q	15,461,431株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因によって、異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報)	7
3. その他	8
(継続企業の前提に関する重要事象等)	8
(商品別売上高の状況)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(2024年3月1日～2024年5月31日)における我が国の経済は、経済活動・社会活動の正常化が進んだことから、企業収益及び雇用や所得環境が改善に向かい、緩やかな景気回復基調となりましたが、物価高騰や世界的な金融引き締めに伴う円安の常態化、不安定な海外情勢の長期化など、依然として経済リスクは高く先行き不透明な状況が続いております。

当社が属するカジュアルウェア業界におきましては、物価高騰や気候変動に加え、生活防衛意識の高まりにより消費マインドが低下する中、お客様ニーズに対応することが求められております。

このような状況のもと、当社は、引き続き「暮らしに役立つ商品と企業活動を通じて地域社会に貢献します。」という企業理念のもと、お客様の生活に密着したライフスタイル提案を行ってまいりました。商品政策につきましては、レディース部門の再構築の一環として、株式会社ワールドとの協業によるブランド「H u s H u s H」の販売を開始し、知名度の高い新たなブランドと、売場作りのノウハウを導入することで集客力向上を図りました。また、夏の機能性商品として、プライベートブランド「NAVY」の「SA・RA・RI」シリーズの拡充や、「いつでもどこでも毎日フィット」をコンセプトとした快適で機能性に富んだ「NAVY FIT」シリーズを展開し、ファッション性と機能が融合した商品群の展開を行ってまいりました。

営業利益の確保が最優先される現況において、収益体質の改善に向けた取り組みとして、不採算店舗の閉鎖、及び持ち越し在庫の処分を進めると共に、徹底した仕入コントロールにより過剰なキャッシュアウトを抑制し、収益性の改善に努めてまいりました。

これらの結果、既存店売上高は、前年同四半期比11.9%減、既存店客数は、13.9%減、既存店客単価は、2.2%増となりました。

また、当第1四半期累計期間末の店舗数は、1店舗の出店、6店舗の閉鎖により、273店舗(前年同四半期比41店舗減)となりました。

利益面におきましては、売上高の減少に伴い、売上総利益は前年同四半期比21.0%減となりました。

経費面におきましては、賃借料や人件費等の減少により、販売費及び一般管理費は前年同四半期比15.3%減となりました。

これらの結果、当第1四半期累計期間における売上高は3,316百万円(前年同四半期比22.9%減)となりました。

また、営業損失は173百万円(前年同四半期は営業損失59百万円)、経常損失は160百万円(前年同四半期は経常損失39百万円)、四半期純損失は202百万円(前年同四半期は四半期純損失116百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ537百万円減少し、7,837百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ494百万円減少し、5,242百万円となりました。これは主に現金及び預金が1,103百万円減少した一方で、商品が395百万円、売掛金が228百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ43百万円減少し、2,594百万円となりました。これは主に敷金及び保証金が38百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ335百万円減少し、5,332百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ278百万円減少し、3,091百万円となりました。これは主に電子記録債務が209百万円減少によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ56百万円減少し、2,240百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ202百万円減少し、2,504百万円となりました。

これは主に四半期純損失202百万円を計上したこと等によるものであります。

総資産に占める自己資本比率は32.0%となり前事業年度末に比べ0.4ポイント減となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年4月12日付、「2024年2月期決算短信」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当第1四半期会計期間 (2024年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,540	437
売掛金	326	555
商品	3,680	4,075
前払費用	130	141
その他	59	32
流動資産合計	5,736	5,242
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	48	47
建物附属設備(純額)	266	251
構築物(純額)	4	4
車両運搬具(純額)	-	0
工具、器具及び備品(純額)	44	44
リース資産(純額)	4	3
土地	173	173
有形固定資産合計	541	524
無形固定資産		
投資その他の資産	109	124
長期前払費用	26	23
敷金及び保証金	1,961	1,923
その他	13	11
貸倒引当金	△14	△13
投資その他の資産合計	1,986	1,945
固定資産合計	2,638	2,594
資産合計	8,375	7,837

(単位：百万円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当第1四半期会計期間 (2024年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	777	906
電子記録債務	1,801	1,591
ファクタリング債務	16	15
未払金	64	41
未払法人税等	124	29
未払費用	376	390
賞与引当金	26	41
資産除去債務	4	12
その他	177	61
流動負債合計	3,370	3,091
固定負債		
退職給付引当金	1,572	1,556
転貸損失引当金	15	13
長期預り保証金	113	107
資産除去債務	561	546
繰延税金負債	23	8
その他	10	7
固定負債合計	2,297	2,240
負債合計	5,667	5,332
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	4,898	4,898
利益剰余金	△2,210	△2,413
自己株式	△80	△80
株主資本合計	2,707	2,504
純資産合計	2,707	2,504
負債純資産合計	8,375	7,837

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自2023年3月1日 至2023年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自2024年3月1日 至2024年5月31日)
売上高	4,301	3,316
売上原価	2,158	1,623
売上総利益	2,143	1,692
販売費及び一般管理費	2,202	1,866
営業損失(△)	△59	△173
営業外収益		
受取利息	0	0
受取家賃	64	48
その他	11	7
営業外収益合計	76	56
営業外費用		
支払利息	0	0
不動産賃貸費用	54	40
その他	1	1
営業外費用合計	56	42
経常損失(△)	△39	△160
特別損失		
固定資産除却損	0	0
減損損失	22	26
店舗閉鎖損失引当金繰入額	16	-
リース解約損	4	-
特別損失合計	43	27
税引前四半期純損失(△)	△83	△187
法人税、住民税及び事業税	32	29
法人税等調整額	0	△15
法人税等合計	33	14
四半期純損失(△)	△116	△202

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第1四半期累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)

当社は衣料品等小売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

(継続企業の前提に関する重要事象等)

当社は、前事業年度まで6期連続して営業損失を計上し、当第1四半期においても営業損失を計上しているため、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせる事象又は状況が存在しております。

当該状況の解消のために、下記の改善施策の実行により売上を回復し、収益性を高め、財務体質の改善を図ってまいります。

(1) マルチブランド政策による品揃えの見直し

既存ブランドに対する選択と集中、また新ブランドの導入による品揃えの整備と鮮度向上を図り、過剰在庫抑制と店舗の集客力向上を図ってまいります。また滞留在庫においては、引き続き、現金化を進めてまいります。

(2) 収益体質の改善

不採算店舗の退店による固定費の削減、及び業務の内製化推進によるコスト圧縮など経費コントロールを徹底すると同時に、無駄な売価変更を抑制し、粗利率向上を図ります。

(3) 重点販売商品の育成

歳時、年中行事に合わせてニーズが高まる商品や猛暑、暖冬などの気温に合わせて需要が高まる商品を重点販売することで売上の核となる商品を育成し、業績回復の基盤作りを推進してまいります。

上記施策を中心に売上回復と抜本的な財務体質改善を図り、事業再建の進捗について緊密に親会社である株式会社チヨダに報告しております。資金繰り状況によっては、親会社に対して資金面の支援要請を行い必要な運転資金を確保することで、財務状況の安定化を図っていることから、現時点では、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

(商品別売上高の状況)

商品別	期別 前第1四半期累計期間 自 2023年3月1日 至 2023年5月31日	当第1四半期累計期間 自 2024年3月1日 至 2024年5月31日	前年同四半期比	増減
メンズトップス	1,373百万円	1,045百万円	76.2%	△327百万円
メンズボトムス	829百万円	699百万円	84.4%	△129百万円
レディーストップス	787百万円	587百万円	74.6%	△200百万円
レディースボトムス	448百万円	377百万円	84.2%	△71百万円
キッズ	458百万円	312百万円	68.1%	△146百万円
その他	404百万円	293百万円	72.6%	△110百万円
合計	4,301百万円	3,316百万円	77.1%	△985百万円

(注) 「その他」はインナー・レグ、雑貨等であります。